
09年 EPOCH 日本プロ野球 OB クラブ 直筆サインカード #A02 王貞治 真贋相違点について

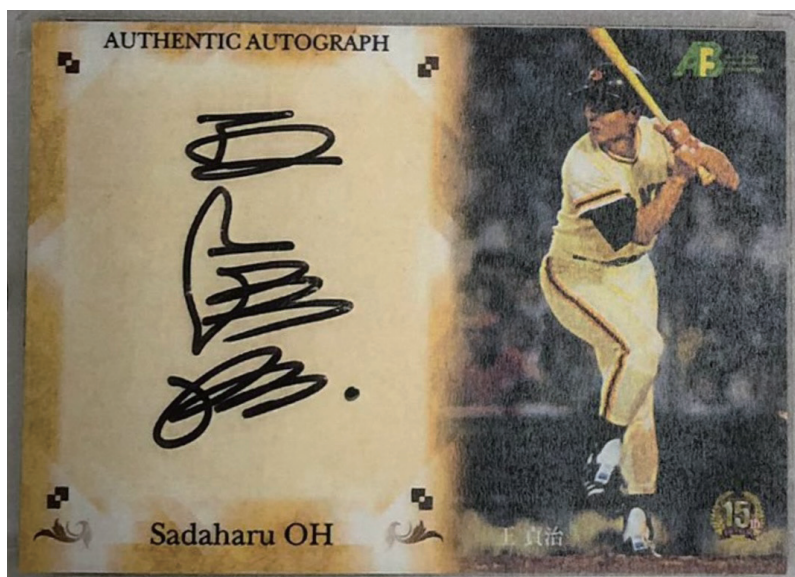


図1: 本物

本直筆サインカードには、偽物と目されるカードが2種類確認されています。それらの偽物カードを「タイプA」「タイプB」と称し、本稿ではそれぞれのポイントを見ていきます。

1 タイプ A

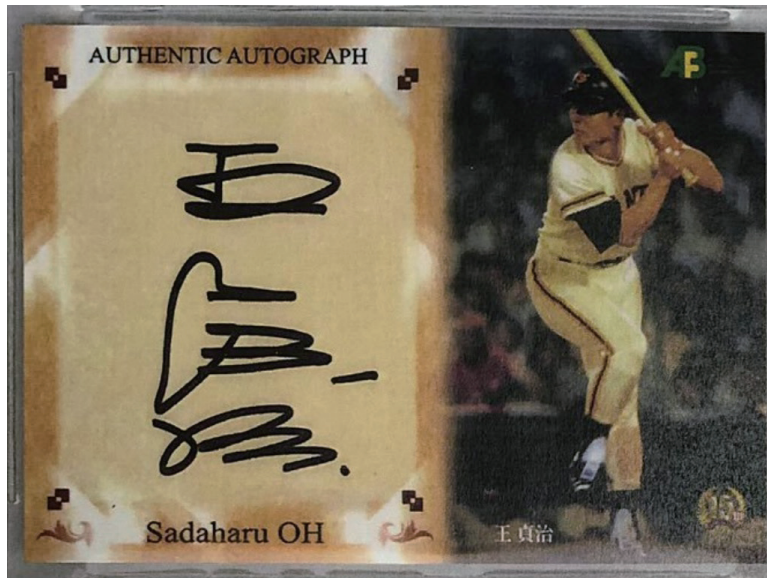


図 2: 偽物タイプ A

タイプ A はエポック社（以下「エ社」）が贋作として公表したものです。
現在（2023年2月）、このタイプ A の偽物が国内外で複数枚確認されています。
以下、本物とタイプ A との相違点を挙げていきます。

■色味（エ社指摘）

偽物表側の色味について、エ社は「(偽物は)あきらかに目視で見分けがつくほど赤味を帯びている」と指摘しています。(図3)



図 3: エ社公表文（抄）

■刻印書体（エ社指摘）

カード裏側に刻印されているシリアルナンバーについて、エ社は「カード裏面の発行枚数を管理するシリアルナンバーの書体（刻印）が異なる」「数字のサイズが（偽物は）小さい」と指摘しています。（図4）

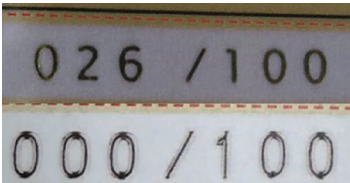


図4: 文字サイズ及び「1」の書体が違う
（上: タイプA、下: 本物）

■ロゴ（エ社指摘）

カードに使用されている日本プロ野球OBクラブのロゴマークについて、エ社は「カード表裏にレイアウトされている日本プロ野球OBクラブのロゴマークのフォントが異なる」と指摘しています。（図5）



図5: タイプAの文字は線の強弱が明確
（左: タイプA、右: 本物）

■文字位置

エ社の公表文にはありませんが、カード表側上部「AUTHENTIC AUTOGRAPH」の記載位置が偽物は本物よりも下がっています。（図6）

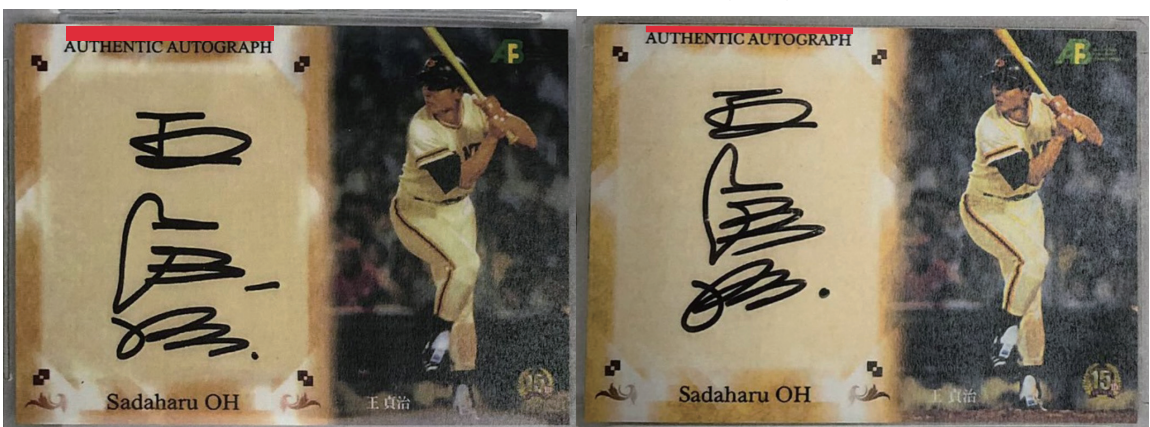


図6: カード上辺から「AUTHENTIC AUTOGRAPH」までのスペース比較（左: タイプA、右: 本物）

2 タイプ B

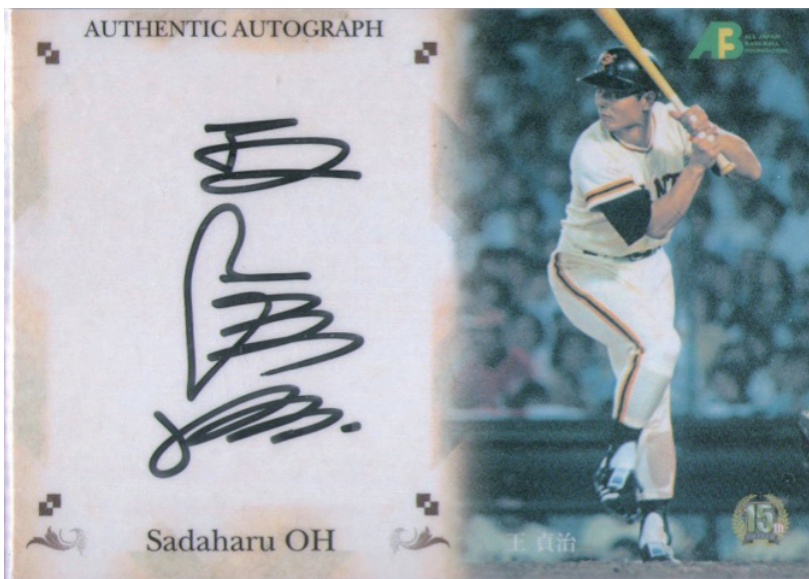


図7: 偽物タイプB

タイプBに関してエ社からの公表はありませんが、オークションに出品された際、本物とは異なる特徴を持つカードとして疑惑を持たれたものです。

筆者の知る限りでは発見例は1枚です。

以下、本物とタイプBとの相違点を挙げていきます。

■ロゴ

カードの表裏にレイアウトされている日本プロ野球OBクラブのロゴマークの冒頭の「A」の中が、偽物では塗り潰されています。(図8)

■漢字ミス

カード裏側に記載されている黒江透修氏の署名のうち、偽物は「江」の一部が欠けています。(図9)



図8: タイプBは「A」の中が塗り潰されている(左:タイプB、右:本物)

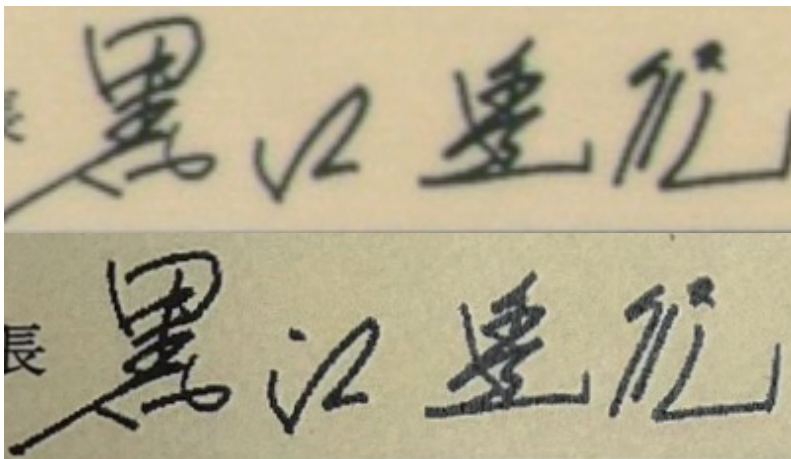


図9: タイプBの「江」は、さんずいの「丶」が足りない(上:タイプB、下:本物)

《注意事項》

- 一．本稿は情報提供を目的としており、特定の方法による成果の実現を保証するものではありません。

- 一．本稿は筆者の個人的見解に基づくものであり、特定の団体の見解を示すものではなく、また記載内容の無謬性を保証するものでもありません。

- 一．本稿に基づく行為及びその結果につき、筆者は何らの責任も負いません。

- 一．個別のご質問にはお答えできません。